

弘法大師生誕
1250年記念 特別展

空海と 真言の 名宝

◆ Special Exhibition ◆

Celebrating 1250 Years
Since the Birth of
the Great Master Kūkai
Kūkai and the Treasures of
Shingon Buddhism

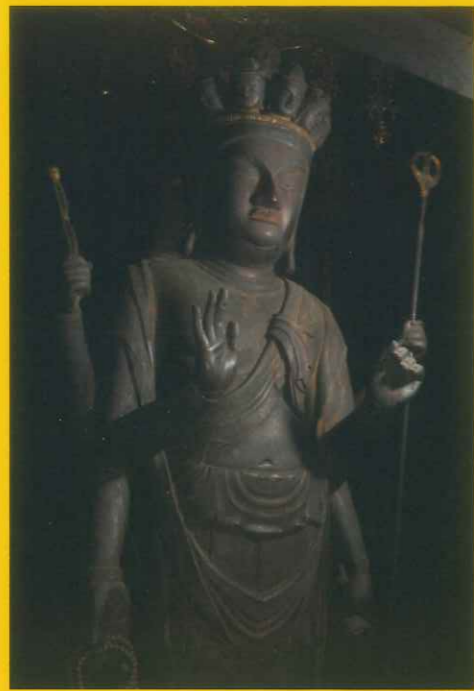
至 宝 集 結

2026 7/14 (火) → 9/6 (日)



東京国立博物館 平成館
TOKYO NATIONAL MUSEUM (Ueno Park)
[上野公園]

見逃せない! 秘仏開帳!



◆重要文化財 十一面観音菩薩立像(部分)
平安時代・9~10世紀 三重・観音寺蔵 撮影/佐々木香輔

随筆家・白洲正子をも
圧倒した存在感!



◆重要文化財 如意輪観音菩薩坐像
平安時代・11世紀 大阪・大門寺蔵 撮影/佐々木香輔

秘仏。
なまめかしく、
うつくしく。



光背や台座にも仏像が!
総高22cmに込められた
超絶彫技

◆国宝 薬師如来坐像
円勢・長円作
平安時代・康和5年(103)
京都・仁和寺蔵

彫刻・金工・色彩の
小宇宙!
宮中ゆかりの仏像



◆重要文化財 聖観音菩薩・梵天・帝釈天立像(二間観音)
鎌倉時代・13世紀
京都・教王護国寺[東寺]蔵



かつて宮中の仁寿殿で行われた天皇の身体健全を祈る儀式の本尊。のちに清涼殿二間に場所を移したことから本像は「二間観音」と呼ばれます。江戸時代に真言宗最大の儀式である後七日御修法に組み込まれました。希少材である白檀から彫り出した像本体、金属製の精緻な光背、華やかな彩色の台座など、当代一流の技術が凝縮されています。

空海と真言宗を知る、 八十八件の名宝巡り

弘法大師空海によって開かれた真言宗は、様々に分派した歴史を持ちます。その中で中心的な役割を果たし、今に続く後七日御修法を支えているのが、真言宗各派総大本山会(各山会)所属の十八本山です。空海生誕二二五〇年を記念する本展では、十八本山と関係寺院の貴重な名宝が一堂に会します。空海ゆかりの名宝、密教美術の精華、密教図像の世界、後七日御修法の世界、真言宗各派の名宝、真言宗各派の彫刻と秘仏。見どころは満載です。八十八件の名宝を通じ、空海と真言密教、そして弘法大師信仰の歴史と広がりをご体感ください。



◆国宝 金銅錫杖頭
中国・唐時代・8世紀 香川・普通寺蔵



空海が
中国から持ち帰った
至高の宝物

◆弘法大師坐像(部分) 江戸時代・17世紀 和歌山・金剛峯寺蔵

現在、金剛峯寺本坊が建つ地は、空海のあと高野山を任された甥の廟所と伝え、後に大伝法院が創建された聖地です。さらに同地に豊臣秀吉が母のために寺院を建てました。本像はこの寺院の創建期より安置されていたといわれます。その後、三度の火災をくりげ、近世の真言宗の発展を見つめてきた由緒正しき秘仏・弘法大師像が、空海生誕1250年を記念して特別に公開されます。

金剛峯寺 本坊持仏間本尊、 特別公開!

圧巻の密教絵画!



◆国宝 十二天屏風のち「梵天」
平安時代・建久2年(1191)
京都・教王護国寺[東寺]蔵
8月11日~8月23日展示

観る者を
圧倒する迫力!
日本最大級の
白描図像

◆重要文化財
五大力菩薩像のち
「金剛吼菩薩」

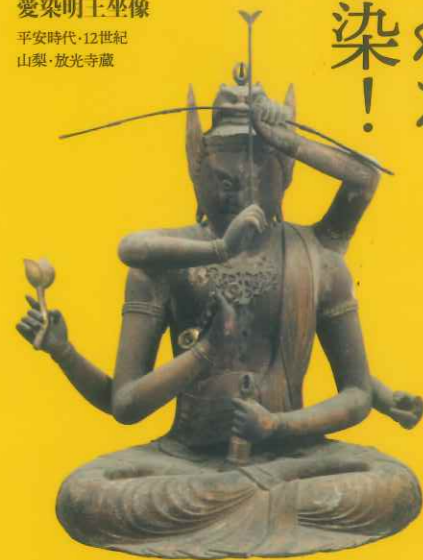
豊前五郎為広筆 鎌倉時代・建久8年(1197)
和歌山・普賢院蔵 前期展示



天の星を
射るがごとし。
甲斐源氏ゆかりの
平安仏。

◆重要文化財
愛染明王坐像
平安時代・12世紀
山梨・放光寺蔵

現存まれな
天弓愛染!



当時の最新のモードを反映した
画期的な十二天のお姿



細やかな截金文様と
伸びやかな描線が
見どころの、
不動明王像の名品!

◆国宝
五大尊像のち
「不動明王」
鎌倉時代・12~13世紀
京都・醍醐寺蔵 前期展示

初期密教彫刻の 傑作、 東京へ!

◆国宝
五智如来坐像
平安時代・9世紀
京都・安祥寺蔵



かわいい密教尊?

米俵が飛ぶ! 蔵が飛ぶ!
命蓮が起こす
奇跡のエピソードを描く!

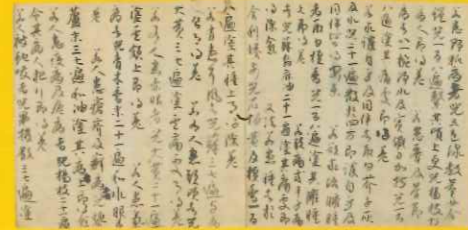
◆国宝 信貴山縁起絵巻 飛倉巻
平安時代・12世紀 奈良・朝護孫子寺蔵 前期展示



石山寺の創建と本尊如意輪観音の霊験を
ドラマチックに描く!

◆重要文化財 石山寺縁起絵巻 巻第一
伝高階隆兼筆 鎌倉~南北朝時代・14世紀 滋賀・石山寺蔵 前期展示

密教経典や梵字などを
書写した、
空海留学中のノート



◆国宝
三十帖冊子 第二十二帖
空海ほか筆 平安時代・9世紀
京都・仁和寺蔵 後期展示

美しい料紙に見事な筆跡!
寺院創建への寄付を募る俊彦の熱意

◆国宝 泉涌寺勸縁疏
俊彦筆 鎌倉時代・承久元年(1219) 京都・泉涌寺蔵 後期展示



国宝絵巻や
書跡も集結!

真言宗各派 総大本山会(各山会)とは

真言宗の主要な16派の総本山・大本山である18の寺院で構成されています。1200年の歴史を持つ後七日御修法を後世に継承することを目的に、昭和33年(1958)に創設されました。毎年1月8日～14日の7日間にわたり東寺で行われる後七日御修法を取り仕切っています。後七日御修法の導師役を務める大阿闍梨は、各山会に属する十八本山の管長・山主のなかから選出され、真言宗を代表する役割を担う長者となります。



長谷寺(真言宗叡山派総本山)
仁和寺(真言宗御室派総本山)
真山寺(真言律宗大本山)

智積院(真言宗智山派総本山)
朝護孫子寺(信貴山真言宗総本山)
勧修寺(真言宗山階派大本山)

大覚寺(真言宗大覚寺派大本山)
醍醐寺(真言宗醍醐派総本山)
根來寺(新義真言宗総本山)

中山寺(真言宗中山寺派大本山)
金剛峯寺(高野山真言宗総本山)
西大寺(真言律宗大本山)

教王護国寺[東寺](東寺真言宗総本山)
清荒神清澄寺(真言三宝宗大本山)
泉涌寺(真言宗泉涌寺派総本山)

普通寺(真言宗普通寺派総本山)
須磨寺(真言宗須磨寺派大本山)
隨心院(真言宗普通寺派大本山)

どしちにちみしほ 後七日御修法とは

1月8日～14日までの7日間、京都・教王護国寺[東寺]灌頂院で鎮護国家、五穀豊穰、玉体安穩などを願い、各山会各派の山主らによって営まれる真言宗最高の法会です。1月7日まで神事が行われた後の7日間の修法である

ため「後七日」の名がある秘儀で、一般には公開されません。承和2年(835)に空海が宮中の真言院で創始して後、南北朝～室町期や明治期の混乱などの一時期を除き1200年におよぶ長い間、毎年続けられてきました。



【先行早割券】

一般前売券に先駆けて、お得な早割券を期間限定で販売します。各券種、前売券より100円お得にご購入いただけます。

- 販売場所: 美術展ナビチケットアプリ
- 販売期間: 2026年4月14日(火)～5月14日(木)

観覧料(税込)	一般	大学生	高校生
先行早割券	2,000円	1,000円	600円
前売券	2,100円	1,100円	700円
当日券	2,300円	1,300円	900円

【前売券】

○販売場所: 展覧会公式サイト、東京国立博物館 正門チケット売場(窓口/開館日のみ/閉館の30分前まで)、各種プレイガイドにて販売します。

- *詳細は本展覧会公式サイトをご確認ください。
- 販売期間: 2026年5月16日(土)～7月13日(月)

このほか、お得なスペシャルチケットを販売予定! 詳細は決定次第、公式サイト等で発表いたします。

*中学生以下、障がい者とその介護者1名は無料。入館の際に、生徒手帳、障がい者手帳等をご提示ください。*本展は事前予約不要です。混雑時はお待ちいただく可能性がございます。*本展チケットで、当日に限り、東博コレクション展(平常展)もご覧いただけます。

会期: 2026年7月14日(火)～9月6日(日) *会期中、一部作品の展示替えを行います。

休館日: 月曜日(ただし、7月20日(月・祝)は開館)、7月21日(火)

開館時間: 午前9時30分～午後5時 *入館は閉館の30分前まで *毎週金・土曜日、7月19日(日)は午後8時まで

前期展示: 7月14日(火)～8月9日(日) 後期展示: 8月11日(火)～9月6日(日) *展示期間の表記のないものは通期展示を予定しています。

主催: 東京国立博物館、真言宗各派総大本山会、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

特別協賛: **Canon** 大和証券グループ **DaiwaHouse** T&D 保険グループ

協賛: **JR東日本** **清水建設** **TAKENAKA** **SMBC**

三井不動産 **MITSUBI FUDOSAN** **三菱ガス化学** **三菱地所** **meiji**



本展の収益の一部は、「新くプロジェクト」における文化財の修理事業に充てられます。



展覧会公式サイト:

<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/kukai2026/>

展覧会公式X/Instagram: @shingon2026



TNM 東京国立博物館 平成館
TOKYO NATIONAL MUSEUM [Ueno Park]

東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ウェブサイト <https://www.tnm.jp/>

JR上野駅公園口・鶯谷駅南口より徒歩10分

東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、千代田線 根津駅、

京成電鉄 京成上野駅より徒歩15分

お問い合わせ: 050-5541-8600 (ハローダイヤル) *ご案内時間 午前9時～午後8時/年中無休
展示作品、展示期間、観覧料などの詳細は今後、展覧会公式サイトなどでお知らせします。
また、記載事項は今後、諸事情により変更する可能性があります。